

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月

事業所名 ルームズ唐人町

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		車いす用トイレは備えていません。玄関・廊下各フロアに段差はなく室内用車いすや歩行器での移動は可能です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		モニタリングと目標見直しのため実施している毎月の支援会議にはなるべく多くのスタッフに参加してもらい広く意見を取り入れています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に一回アンケートを実施して、意見を集計したうえで課題点を改善できるよう努めています。アンケートでいただいたご意見はスタッフ間で共有し改善すべき点については会議で検討し改善に努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開しています	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現状のところ、自己評価により業務改善をおこない、支援の品質向上に努めています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		スタッフが他事業所との勉強会や研修に参加して、月に1回程度は内部研修を実施しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		半年毎にモニタリングを実施し、契約時と新年度には所定のアセスメントを実施しています。また、送迎時や面談、担当者会議などで子供の様子を共有し、子供と保護者の意見を聞いた上でニーズを分析し計画に生反映させています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		利用開始及び新年度に行っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		日々の運動プログラム、学習内容、各種イベント活動はそれぞれの担当者が中心となり、朝礼や会議の場で話し合っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		過去の取り組みを参考にしながら現在のニーズに合わせ、個別、集団それぞれのプログラムを考案しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日は学習、運動、創作活動、休日はそれらに加え外出や集団活動を組み合わせて支援しています。長期休暇中は、コンサートなどを目標にして長い期間を計画的に取り組めるよう支援しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子供の発達状況やニーズに合わせて運動プログラムや作業プログラム、学習プログラムなど個別活動と集団活動を組み合わせて支援しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		児童の来所前にスタッフ間で送迎や支援について打ち合わせをしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		日々記録を記入しながら当日の様子で気になった点などを話し合っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別支援計画に基づいた評価と、その日の様子を記録しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		3～6か月毎にモニタリングを行い、内容を支援会議で検討し計画の見直しの必要性を判断しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が中心となって、場合によっては他職員も参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者様を通じて情報共有を行っていますが、必要に応じて学校と直接情報を共有しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		看護師が所属していないこともあり、現在のところ、医療的ケアが必要な子どもの受け入れはおこなっていません。アレルギーのある子供については、研修を受けたりエビベン手技を習得したりしており対応可能です。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		引継ぎ時の担当者会議や申し送り書を通じて情報共有をしています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		必要に応じて、生活介護や就労移行支援の事業所に文書で申し送りを行っています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修への参加などで、連携を図っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		新型コロナウイルスの収束を踏まえ今後近隣の保育所などとの交流を検討していきたいと思ます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		中央区子どもネットワーク会議へ参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳及び送迎時に加え、適宜面談時やメール及び担当者会議で子供の様子について話し合い共通理解を持てるようにしています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者の要望、必要に応じて助言しています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時や支援計画作成時、内容の変更時や求めに応じてその都度説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		適宜行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナ感染の収束に合わせて約3年ぶりに保護者会を実施しました。たくさんの保護者に参加いただき保護者間での連携を支援できました。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		窓口対応者、責任者を配置し、迅速に対応できるよう心がけています。改善の必要な場合はスタッフ間や会社全体で協議し改善に努めています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に一回、お便りを配布して子どもたちの様子やイベントの狙いについて発信しています。ホームページも随時更新し活動の様子を紹介しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		写真や動画の取り扱いには最新の注意を払っています。学校や他事業所と情報共有する場合は保護者への報告を徹底したいと思います。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードやホワイトボードを使用し視覚化するなどの配慮をしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		久しぶりに開催できた外部会場でのコンサートには、地域の保育所へ案内をしました。個人情報保護との兼ね合いを考慮しながら今後検討したいと考えています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		スタッフの新規採用時や利用者の新規契約時に策定した各マニュアルを説明し周知しています。また、求めに応じて都度説明しています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		マニュアルに則り、年に二回以上、水害、火災、地震訓練を実施して、子供と振り返りまで実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に二回程度、内部研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		カンファレンスで必要な児童を選定し、支援計画書に位置付けています。また、お預かり中に危険が迫っているときなど一時的に動きを制限することがある旨を契約時に説明し、同意書を頂いています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		医師の指示のある子どもは在席していません。保護者からの聞き取りを基にアレルギー一覧表を作成し予定にない飲食の提供を禁止して対応していますが、今後医師の指示の有無についてもしっかりと聞き取りをしたいと考えています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットは適宜作成しスタッフ間で回覧したのちファイリングしています。重要と思われる事例については研修で取り上げて再発防止に努めています。	